

授業改善等に関する報告書（2025年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語学概論 b	山田 里奈	本授業では、文法、音韻、文体等の日本語学の方野について扱いました。日本語学の用語も多く出てきて、難しいと感じるところもあったかもしれませんが、毎回提出していただくワークシートでは、多くの書き込みがされていたり、感想や考えを書いてくださっていて、積極的に学ぼうという姿勢が見られました。アンケートの結果、予習の時間が少ないようでしたので、今後は、論文の紹介をしたり、課題を出したりする工夫をしていこうと思います。
国文学概論 b	大橋 直義	1年生の必修科目としては、あえて内容のレベルをあげている授業であるのですが、受講者の多くが、試験およびレポートにおいて、非常にすぐれた成果を提示してくれました。アンケートにあったように、多くの皆さんが意欲的に取り組んでくれた結果かと思えます。
国文学概論 b	石田 礼以菜	本講義は、国文学（後期は主に近世～近現代文学）について、楽しく学び、文学作品を身近に感じていただくことを目的としています。アンケートの分析結果を見ると、おおむねその目的は達成できたようです。今後は、他の科目においても、履修者の皆さまの興味のある話題から入っていく、国文学についての深い学びが得られるような、工夫した授業を行いたいと考えております。半年間、本当にありがとうございました。
国文学概論 b	舟見 一哉	予想を超える高い評価をみて驚いている。レスポンスを活用した点に、心理的安全性を得た学生が多いことが分かったため、今後もこの手法を利用したいと思う。反省として、古典を扱うことが多かった点が挙げられる。近現代文学とのバランスを再検討したい。
古典文学基礎講読 b	越後 敬子	前期に学んだ変体仮名の解読知識をもとに、『おくのほそ道』諸本を比較し、本文がどのように出来上がったのかを考察しました。各自の分担を決めて責任を持って調査発表することで、みなさんの変体仮名解読能力が増し、古典文学作品へのアプローチの方法も学べたと思います。授業の最終日にこのアンケートをお願いしましたが、残念ながら回答率があまりよくありませんでした。次年度以降改善できるよう検討したいと思いません。
古典文学基礎講読 b	石田 礼以菜	本授業は、前期にひきつづき、くずし字について楽しく学びながら、まずは発表の場に慣れていたことを目的としていました。アンケートの分析結果を見ると、おおむねその目的は達成できたようです。今後は、より履修者の皆さまの成長に繋がるように、適宜、課題の内容や量を調節することを心掛けたいと思います。半年間、本当にありがとうございました。
近代文学基礎講読 b	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。いつもながら、シラバス通りに進めることが出来なかったのが心残りですが、皆さんの真摯な態度に深く敬意を表したいと思います。これからも学び続けて下さい。
近代文学基礎講読 b	ブルナ、ルカーシュ	半期を通して林芙美子の作品を読みましたが、どうでしたか。作品の執筆背景、作者自身の状況、作品の言葉、文体、構成、作中に出てくるさまざまなキーワードなど、作品について多角的に考えてきましたが、この作業を通して、林芙美子という作家のイメージ（そのイメージが学生ひとりひとり違うでしょう）が見えてきたのではないかと思います。これからも、この授業で学んだことを生かしながら、どの作家や作品についても、つねに多角的なアプローチで考えてみることにしてみてください。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、まことにありがとうございます。漢文や『三国志』に対し興味を持ったというコメントも多くいただき、大変うれしく思います。授業の進行速度に対するご意見もいただきました。参考にさせていただきます。より良い授業を行えるよう、努めて参りますので、引き続きよろしくお願いたします。
漢文学基礎講読 b	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。よりよい授業を行うべく努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。
国語学基礎演習 b	福嶋 健伸	予想以上の高評価、誠にありがとうございます。約50名の基礎演習ということで、大変だったのですが、コメントは、「様々な論文を読むことができ、自分の担当論文についても理解を深めることができてよかった」「論文を読んで理解をして自分の言葉で説明する力が身についた。」「ノチ節に対する理解を深めた。論文を読み解き、重要な点を理解する力が身についた。」等、肯定的なものばかりで、授業の目標も達成できたものと考えています。
中古文学基礎演習 b	舟見 一哉	全員からアンケートを得られなかったことを反省する。基礎演習では、やや難易度の高い調査を求めたが、それでも「楽しかった」というコメントがあることに安心した。

[2025 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中世文学基礎演習 b	太田 克也	アンケートへの回答を要請したものの、回答者が極端に少なかったため、この結果に基づいてコメントするのは難しい。ただ出席状況と理解度や満足度が比例しているようなので、まずは生活習慣を整えて授業に出席するのが大事であるということ意識づけたい。
近現代文学基礎演習 b	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 マンガというテーマが、皆さんにとってそれほど身近ではない（特に現在連載中の作品を除いて）ということに、驚いています。 そのため、想定外の反応に対する調整が十分出来ませんでした。 ただ、演習者の発表は、すべて想定外の好い出来でした。 ご苦労様。 そうして、あらゆる言語表現の中に「文学」があることを忘れないで下さい。
近現代文学基礎演習 b	大原 祐治	毎回、テキストの細部にこだわって討議する演習形式の授業に慣れ、「研究」の対象として文学作品を読み込むという作業に手ごたえを感じとった人が多いようです。来年度の演習授業やその先にある卒業論文の執筆でも、この手ごたえを忘れずにいてください。
漢文学基礎演習 b	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方を設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、manabaのアンケートフォームから、さまざまな設問（例えば王之渾「鶴雀楼に登る」詩に関して、高さを象徴する日本の建物を挙げるなど）に答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。今年度の授業では、特に平仄のきまりについて力を入れて説明しました。クイズ形式で入声に対する理解も深めてもらいました。授業アンケートの結果を見ると「詩の解釈への理解や、平仄への理解が深まった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度もこのように、学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思います。
国語史 b 木曜配信（渋谷）	山田 里奈	本授業は、室町時代以降の日本語の歴史について扱いました。動画の視聴を毎回続けるのは大変だったのではないかと思います。動画の視聴と課題を毎回きちんとこなしてくださっている方がほとんどで、意欲的に取り組んでくださっていたと思います。アンケートの結果、予習の時間が少ないようでしたので、もう少し、双方向的に質問しやすい環境や意見を交換する環境を整える等の工夫をしていこうと思います。
上代文学史 b 木曜配信（渋谷）	池田 三枝子	回答率が2割強なので判断が難しいところですが、約77%の方が授業に満足し、約85%の方が「自身の成長が実感できた」としているのは喜ばしいことです。また、約77%の方が週あたりの事前事後学修1時間以上（約15%が2時間以上）なもの、課題への取り組みとして良いと思えます。得た知識を今後の学びに生かして頂けるよう願っています。
中古文学史 b 水曜配信（渋谷）	庄司 敏子	毎回のフィードバックについては好評であった。オンデマンドでも質問や意見交換ができるよう、今後も続けていきたい。 一方、授業の予習・復習の時間が十分でない学生も見られた。課題等を工夫し、学習時間を確保してもらえよう気を付けたい。
中世文学史 b 月曜配信（渋谷）	太田 克也	アンケートへの回答を何度か要請したものの、回答率が4割を切っており、どれだけ履修者全体の意識を反映しているかわからないが、理解度や満足度の項目の回答が平均以上であったことは喜ばしく思う。オンデマンド授業であるので説明や応答には限界があるが、より理解しやすい授業にしていきたい。
近現代文学史 b 木曜配信（渋谷）	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 文学史＝知識、という、もしかしたら退屈な授業だったかもしれません。 しかし、何かを「知る＝覚える＝知っている」ことは、その先の新たな世界を理解するためには欠かせないことです。 皆さんが学んで来た「知識」を、たんなる記憶にしないで、活かしていつて下さい。
中国文学史 b	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方を設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、manabaのアンケートフォームから、さまざまな設問（例えば李白の詠月詩に関して、歌詞に月が出てくる曲を挙げるなど）に答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。今年度は特に毎回の授業の最後で取り上げた格言コーナーに興味を持ってくれた学生が多かったです。授業アンケートの結果を見ると「中国の格言など、人生の指標になりそうな言葉をたくさん知ることができた」といった肯定的なコメントを複数もらいました。来年度もこのように、学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思います。

[2025 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国語学研究 b	吉田 雅子	アンケートへのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を今後の授業運営にいかしていきたいと思ひます。受講生の皆さんも、この授業で学んだことを今後さまざまなところで活かしていただければ幸いです。 吉田雅子
近世文学研究 b 金曜配信 (渋谷)	石田 礼以菜	本講義は、近世文学 (後期は主に挿絵入りの版本) について、ボーカロイドや米津玄師の楽曲などの、現代のサブカルチャー作品の話題を交えながら楽しく学び、古典文学作品を身近に感じていただくことを目的としていました。 オンライン授業という性質上、前期と同様に、資料を読み上げる速度など、やむをえず皆さまへの細やかな配慮が至らない部分が多々ございましたが、履修者の皆さまのご理解とご協力のおかげで、気持ちのよい雰囲気での授業を行うことができました。 半年間、本当にありがとうございました。
近現代文学研究 b 月曜配信 (渋谷)	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、お疲れさまでした。今回の授業では、チェコ出身の女性旅行家について学びましたが、マイナーの国の、それほど有名でもないこの人物について学ぶことによって、近代日本の文化や社会、あるいは同時代の日本文学についても、さまざまな新しい面が見えてきたのではないかと思います。小さなところに着目すると、大きな問題に気づくこともある、これが研究の基礎のひとつなのですが、皆さんもこれから年頭においてみてください。
中国文学研究 b	秋谷 幸治	例年の授業と同じように、知識を身につける時間と学生自身に考えさせる時間の両方を設けることを心がけました。後者については、毎回の授業において数分程度の時間を設け、manabaのアンケートフォームから、さまざまな設問 (例えば曹操が敵将を嘲笑することに伏兵が登場するというシーンに関して、知っている漫画やアニメのフラグ回収の場面を挙げるなど) に答えてもらい、各学生の解答を紹介しながら、授業を進めていきました。今年度は特に「物語のセオリー」に着目して三国志演義を読解していきました。授業アンケートの結果を見ると「三国志演義の登場人物や、物語の構成についての理解が深まった」といった肯定的なコメントを複数もらいました。小説の理論についても紹介できればよかったのですが、これについてはできませんでした。来年度の課題にしたいと思っています。来年度も学生の身近な事柄から中国文学を捉えるというアプローチで授業を進めていきたいと思ひます。
国文学科プロジェクト入門	大原 祐治	今年度から新たに設置された授業であり、まったくの手探りの状態からスタートでしたが、履修者の皆さんのがんばりによって、実りある授業になりました。大学での学びと大学外の社会とのつながりを考えた経験、グループワークによる共同作業の成果は、今後取り組む卒論や、卒業後の社会生活で生かされることになると思ひます。半年間、おつかれさまでした。
国文学科プロジェクト入門	田中 靖彦	本授業に対し極めて高い評価をいただきましたこと、光栄に思ひます。よりよい授業を行うことができるよう、引き続き努めてまいります。 この授業での学びを、今後の大学における学びに活用していただければと思ひます。
国文学科プロジェクト入門	山田 里奈	本授業は、江戸時代の料理本の中から料理を選び、本当に作ってみて、料理番組やパンフレットを作成するという課題に取り組みました。私も含め、全員が初めての取り組みでしたが、みなさんの課題解決能力に助けられました。どのグループも全く異なる動画やパンフレットが完成し、意義のある活動になったと思ひます。
国文学科プロジェクト入門	大橋 直義	皆さんにとって (そして国文学科にとっても) 初めての必修PBL授業でした。 うまくいくかどうか、とても心配していましたが、皆さんの前向きなありかたに、こちらとしてもとても救われました。 ぜひ、来年度以後もこの調子でがんばってください。
国文学科プロジェクト入門	舟見 一哉	はじめてのPBL授業だったため、手探りで進めることになったが、学生のアンケートからは、楽しかったというポジティブな反応がみえ、安心した。デジタル技術を扱う国文学科の講義として今後も位置づけたいと考える。
国文学科プロジェクト入門	福嶋 健伸	高評価、誠にありがとうございます。具体的な例を一つあげますと、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」の数値は4.50 (全体平均は4.43) となっており、授業準備に時間をかけたことが、よかったのだろうと思ひます。コメントも、「文学史は苦手だったが、この授業は毎回楽しみにしており、文学史についての理解が深まった。」「様々な作品に触れることで、国文学史に対して抱いていた「つまらない」という印象を払拭することができた。」「いろいろな作品を楽しく学ぶことができてより興味を持つことが出来た。」肯定的なものがほとんどであり、授業の目標も達成できたものと考えています。唯一、肯定的ではないと解釈できるコメントに、「〇〇じゃない。」という書き方だと、台本を見た時に、そうであるのか、そうではないのかということを一瞬で判別しにくくなる (以下略) というものがありました。ご指摘、その通りであり、来年度から早速改善しようと思ひます。ご指摘、誠にありがとうございました。

〔2025（後期）国文学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
国文学マーケティングプロジェクト	深澤 晶久	国文学マーケティングプロジェクトを受講いただきありがとうございます。国文学科を代表する、やる気に満ち溢れたメンバーとともに過ごせたことに感謝いたします。今年も、叶匠寿庵様のご配慮もあり、視察研修も、とても中身の濃い内容になりました。そして特に感じたことは企業案内作成への姿勢です。自ら様々な調査を重ね、視察研修の学びが進化した内容であったことに感謝申し上げます。この授業の狙いである国文学の学びが実社会で大きく活かせることを実感いただいたのではないかと振り返っています。さらに学びを深めていただくことを期待しています。ありがとうございます。
茶道 b	橋本 素子	みなさま 後期の受講ありがとうございます。総じて、みなさまのご成長を強く感じる半年となりました。ご自身で目的・目標を立てて、それについて調べまとめ、さらに発展的に問題点や疑問点を見つけて、それを解決していくという方法は、これからの人生において、どの分野でも必要とされ、かつ有効なプロセスであると考えます。どうぞこれをご自身の味方につけて、豊かな人生を送っていただくことを願っております。またその力はみなさまお持ちであると思います。
日本語教授法-中級-月曜配信（渋谷）	鈴木 美恵子	みなさん、後期の授業おつかれさまでした。また、アンケートへのご協力をありがとうございました。みなさん、毎回の課題に熱心に取り組み、授業の内容をよく理解して考えることができていました。今後、さらに皆さんが興味を持って学び、理解を深めることができるよう、工夫していきたいと思えます。
日本語教育文法-中級-木曜配信（渋谷）	山内 博之	毎回、A4で8ページ程度の資料を作り、manabaで配信して行きました。オンデマンドなので、手応えのようなものがまったくわからず、心配でしたが、期末試験の出来はかなりよかったです。ちょっと安心しました。もう少し、受講者とのやりとりをする工夫が必要だったと思います。
日本語教授法演習 b	鈴木 美恵子	みなさん、前期の授業おつかれさまでした。また、アンケートへのご協力、ありがとうございます。この授業では、日本語学習者を対象とした作文の授業の組み立て方やフィードバックの方法を扱いました。2年生から4年生が履修し、グループ活動も多かったですが、みなさん協力してよい話し合いができていたと思います。今後は、授業のスピードも更に配慮し、より効果的に学べるように工夫していきたいと思えます。
Japanese Linguistics 火曜配信（渋谷）	山内 博之	外国人学習者からの質問に対する回答を毎回英語で作成する、という授業でしたが、受講生が61名と多かったため、全員にフィードバックすることができず、毎週、20名程度にコメントするのみにとどまってしまいました。その点が、よくなかったと思います。今後、改善していきたいと思えます。
日本語文法論 b 水曜配信（渋谷）	福嶋 健伸	高評価、誠にありがとうございます。オンデマンド、56名履修、かつ、古典文法がテーマ、ということで、授業準備も非常に大変な授業だったのですが、例えば、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」の数値が 4.64（全体平均は4.43）ということで平均を超えており、かなりうまくいった授業だと考えています。具体的には、「プロジェクト」の機能を使用したのがよかったのだろうと考えています。コメントも、「意見を交換する機会がありまとめる力が身についた」「先生の説明が軽快で分かりやすく、古典への苦手意識がやや薄れたことが、この授業で特に成長した部分だと感じます。」「分かりやすいコースニュースで理解しやすかったです!!!」「説明が分かりやすく、苦手な内容でも授業を面白く受けることができた。」等、肯定的なものばかりであり、この点からも、授業の目標が達成できたことを確認することができました。
日本文学史 b 水曜配信（渋谷）	片野 智子	まずはアンケート回答にご協力いただきありがとうございます。明治以降の日本文学史についての授業でしたが、様々な派閥があり、作家や作品の数も多いため、復習にかける時間も多かったと思います。ただ暗記するだけの授業とならないように、それぞれの派閥がなぜ生まれ、その中でどんな作品が生み出されたのかを系統立てて説明するようにしましたが、8割以上の方が「説明がわかりやすかった」と言ってくださり、ひとまず安心しております。ただ、その評価に慢心することなく、今後も皆さんからの質問や要望を踏まえながら、よりわかりやすい授業づくりに励んでいきます。また、「作家の裏話が面白かった」と言ってくれる方も多かったため、そうした近代文学の豆知識なども交えることで、多くの学生に興味をもってもらえるような授業をしていきたいと考えております。
特殊演習 2	池田 三枝子	大学4年間の学びの集大成である卒業論文を書くためのこの授業で、100%の方が「自身の成長が実感できた」「総合的に判断して満足した」と回答しているのは、大変喜ばしいことです。卒論執筆で習得したものを社会に出てから生かして頂けるよう願っています。
特殊演習 2	大橋 直義	みなさん、卒業おめでとうございます。それぞれに精いっぱい卒業論文を書くことができたのではないかと思います（修正したい人はいつでも教えてください）。社会にでても、この大変な一年を糧に、自分らしく、さらに成長してください。応援しています。

[2025 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特殊演習 2	大原 祐治	それぞれの課題にじっくり取り組み、精度の高い卒業論文を完成・提出することができました。最後の口頭試問も立派に乗り切ることができていました。卒業式の日に(永久賞与という形で)手渡される各自の卒論は大事に保管し、たまには手に取って大学時代の達成を振り返ってみてください。おつかれさまでした。
特殊演習 2	田中 靖彦	本授業に対し高い評価をいただき、ありがとうございます。この授業を通して多くの方が成長を実感できたとのこと、非常にうれしく思います。この学びを、ぜひ今後を活用していきましょう。
特殊演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 そうして、卒論、お疲れ様。 最後の、一番高い山を、よく越えましたね。 私にとっても楽しい一年でした。 そうして、皆さんのレベルの高さに驚いています。 これからも様々な場面で「文学」して下さい。
特殊演習 2	福嶋 健伸	予想以上の高評価、誠にありがとうございます。 特に、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」は5.00とパーフェクトであり、私も頑張ったかいがあったなと思っています。コメントも、「卒業論文を書き切ることができました。」「先生が学生に親身になって相談に乗ってくれたり、質問をしたらわかりやすく答えてくださって先生のゼミを選択して良かったと感じています」「無事に卒論を完成させ、提出することができました。自身の出身地の方言を調査して論文を執筆したこの1年はとても有意義でした。このゼミを選んで良かったです。」「等、肯定的なものばかりでした。私にとっても、大変充実した授業でした。
特殊演習 2	舟見 一哉	全員からアンケートを得られなかった点は反省せねばならない。個別対応が中心であったが、特殊演習の目的としていた「探求心」を養えたとの回答があったことに安心した。
特殊演習 2	ブルナ, ルカーシュ	みなさん、よく頑張りました。一年という限られた時間で2万5千字の卒業論文を書き上げるのは決して容易なことではありませんが、みなさんの努力が実り、立派な卒業論文を書き上げることができましたね。ほんとうにおつかれさまです。これからも、卒業論文の執筆を通して、また、大学4年間を通して学んだことを積極的に活用しながらがんばってください。
特殊演習 2	山内 博之	履修者が16名であるにもかかわらず、アンケート回答者が3名のみでした。データが少ないので何とも言えませんが、3名とも自身の成長を実感できたとのことなので、その点はとてもよかったですと思います。ゼミ生たちの努力は、本当に素晴らしかったと思います。
特殊演習 2	山田 里奈	卒論完成に向け、それぞれの方が自分のペースで進めることができたと思います。アンケートの結果、予習の時間が少ないように思いましたので、今後は、もう少し、お互いの意見を交換したり、アドバイスしあったりする時間を取ることで、授業に向けて何か準備できるような声かけをしていけたらと思います。
国語学演習 2	山田 里奈	本授業では、担当範囲から自分で課題を見つけ、2つ以上の調査を行なって発表してもらいました。コーパスを数種類調査したり、辞書や漫画等の調査をしたりと、2つではなく3つ、4つの調査を行ない、自分の意見を発表してくれる方が多く、意欲的に取り組む姿が見られました。アンケートの結果、予習の時間が少ないようでしたので、今後は何か課題や論文紹介等を行なっていけたらと思います。
国語学演習 2	福嶋 健伸	高評価、誠にありがとうございます。具体的な例の一つあげますと、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」の数値は4.86(全体平均は4.43)となっており、授業準備に時間をかけたことが、よかったのだらうと思っています。コメントも、「みなさんの秘められた文才を垣間見ることができ、楽しい授業でした。」「授業の時間が押してしまった時も、コメントを書く・読む時間を別で作ってくれたので、ちょうどいいスピードで進めることができました。授業とても楽しかったです。」「異本作りの演習やまとめを通して、古典文学が含む国語学的要素を理解することができた。」等、肯定的なものばかりで、授業の目標が達成できたことを確認することができました。
上代文学演習 2	池田 三枝子	上代文学演習 1 (前期) より上代文学演習 2 (後期) のほうが要求水準が高い授業でしたが、100%の方が「意欲的に取り組んだ」「自身の成長が実感できた」と回答しているのは、大変喜ばしいことです。この成果を卒論執筆に繋げて頂ければと思います。
中古文学演習 2	舟見 一哉	全員からアンケートを得られなかった点を深く反省する。それでも回答のなかには、極めてポジティブなコメントがあり、数値も高い点は安心した。授業では高度な調査を求めたが、それでも楽しめたというコメントから、この方針の確かさを実感した。

[2025 (後期) 国文学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中世文学演習 2	大橋 直義	『今昔物語集』の演習だけでなく、卒業論文のための準備も含め、多くの皆さんがとてもがんばってくれました。新年度もこの調子でがんばりましょう。
近現代文学演習 2	ブルナ, ルカーシュ	皆さん、よく頑張りました。授業では、言語や国籍、ルーツなどをキーワードにして、さまざまな作品を読みましたが、それぞれの作品を丹念に読み解き、執筆背景や同時代評価、先行研究などを視野に入れながら自分なりの「読み」を紡ぎ出す力を伸ばすことができたと思います。来年はそれを生かしながら卒業論文を書いてください。
近現代文学演習 2	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。 好評価をいただき、ホッとしています。 作品に積極的に「参加する」こと、自分自身の問題として「引き受ける」こと、そうしてなにより「楽しむ」こと、をこれからも大切にしてください。
近現代文学演習 2	大原 祐治	「都市空間」の諸相が描き込まれた文学作品について討議を行いました。毎回の発表者とコメントーターが作品をしっかりと読み込んで準備していたので、実りのある議論になりました。自分なりの論点を見つけ出し、調査をふまえて立論する、という作業の中で培った力を、来年度の卒業論文執筆において活かしてください。
中国文学演習 2	田中 靖彦	本授業に対し、極めて高い評価をいただき、誠にありがとうございます。よりよい授業を行えるよう、引き続き努めてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。
日本語教育学演習 2	山内 博之	毎回、類似表現に関する課題を出し、授業時間内に全員で解決していくという方法で授業を行いました。みなさん、とても熱心に課題解決に取り組んでくれましたし、最終レポートの内容も、かなりよかったです。授業中の取り組みが成果となって現れているように感じました。
仮名書法 b	伊藤 文生	「授業アンケート」集計結果によると、「総合的に判断してこの授業に満足」に「とてもよくあてはまる」履修者が78.6%、「どちらかといえばあてはまる」履修者が21.4%で、満足率はほぼほぼ100%と言えようか。ただし、回答率は58.3%に過ぎず、4割余りの履修者が回答を拒否するような授業だったとも考えられる。 [具体的に成長を実感したこと]としては「復習する力が身についた」「異体仮名についての理解が深まった」「文字をお手本の通り書けるよう、丁寧に時間をかけて書くことができました」など。[授業を受けて良かったことや改善を希望する点]としては「静かな空間で文字を丁寧に書くことができ良かったです。落ち着いて授業を受けられました」と回答があった。 なお、授業内で実施した工夫・取り組み、学生の要望に対する対応として、「あなたはこの授業(仮名書法b)で何を学びましたか?そしてこれからどんなことを学びたいですか?簡潔に記入してください」というアンケートを実施したところ、以下のような回答が得られた。 「成り立ちや字源を踏まえ、基本的な仮名の形・筆順・運筆を意識した書き方を学びました。また、古典作品を通して、仮名書の美しさや表現の幅について理解を深めました」等。以上。